

地域計画

| | |
|-------------------|------------------|
| 策定年月日 | 令和7年3月31日 |
| 更新年月日 | () |
| 目標年度 | 令和16年 |
| 市町村名 (市町村コード) | たつの市 28229 |
| 地域名 (地域内農業集落名) | 鍛冶屋地区 (鍛冶屋) |

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

| 区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域) | 7.2 ha |
|--------------------------------------|--------|
| ① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 | 4.0 ha |
| ② 田の面積 | 6.1 ha |
| ③ 畑の面積(果樹、茶等を含む) | 1.1 ha |
| ④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計 | 0.3 ha |
| ⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計 | 3 ha |
| (参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計 | 1.9 ha |
| うち後継者不在の農業者の農地面積の合計 | 1.6 ha |

(備考)

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するよう努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

| |
|---|
| 当地区は、農業者の平均年齢65歳と高齢化が進み、後継者がいない農家が7割強となっており、遊休農地の更なる増加が懸念される。地区内には、2名の認定農業者と、他地区から入ってきている認定農業者1名、水稻栽培を中心とした中核農家1名の合計4名の担い手が存在している。集落の一部分の山際の土地は遊休化しつつあり、何等かの対策が必要である。今後、地域全体で、遊休化していく農地の有効利用をしていく仕組みづくりが課題で、このため、分散する担い手の農地の集約化や、リタイヤする農家の農地を担い手へ集積する方法を地域で検討していく必要がある。 |
|---|

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

| |
|---|
| 地区内の認定農業者は、切り花栽培の専業農家と有機野菜栽培の専業農家で、経営規模の拡大意向があり後継者不在の農地の受け手として期待される。今後、規模拡大や新たな栽培品種の導入等高付加価値農業への取り組みを進めていく。また、山際の一団の遊休化しつつある農地については、認定農業者が花木栽培に利用することを検討している。 |
|---|

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

| | | | |
|--|--|--|--|
| (1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針 | | | |
| 農振農用地区域内の農地及びその周辺の認定農家の経営農地を農業上の利用が行われる区域とした。 農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。 | | | |
| (2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標 | | | |
| 現状の集積率 50 % 将来の目標とする集積率 90 % | | | |
| (3)農用地の集団化(集約化)に関する目標 | | | |
| 農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者)への農地の集積・集約化を基本として進める。 | | | |

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組

農地中間管理機構を活用して、認定農業者への農地の集積拡大を進めるとともに、リタイヤする農家の農地を担い手へ集積を進めて行く。

(2)農地中間管理機構の活用方法

地域の農地は農地中間管理機構を通じて、担い手等に集積するよう進めて行く。

(3)基盤整備事業への取組

地域として、圃場整備事業の取組が難しいなかで、担い手への農地の集積・集約化を進め経営の効率化が図れるよう進めていく。また、地域全体で担い手と協力して、農道・水路等農業基盤の整備に取り組むとともに地域資源の保全等を進めていく。

(4)多様な経営体の確保・育成の取組

市町村やJAと担い手等と連携し、地域内外から多様な経営体の確保や育成が図れる体制の整備に努める。

(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

地域内で農作業の効率化を図るための農業支援サービス事業体の活用や、担い手との協力による遊休農地の発生防止に努める

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

| | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|-----------|-------------------------------------|-------------|-------------------------------------|---------|--------------------------|----------|--------------------------|------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | ①鳥獣被害防止対策 | <input checked="" type="checkbox"/> | ②有機・減農薬・減肥料 | <input checked="" type="checkbox"/> | ③スマート農業 | <input type="checkbox"/> | ④畠地化・輸出等 | <input type="checkbox"/> | ⑤果樹等 |
| <input type="checkbox"/> | ⑥燃料・資源作物等 | <input type="checkbox"/> | ⑦保全・管理等 | <input type="checkbox"/> | ⑧農業用施設 | <input type="checkbox"/> | ⑨耕畜連携等 | <input type="checkbox"/> | ⑩その他 |

【選択した上記の取組内容】

①イノシシやシカの被害が拡大しないよう設置している防止柵の定期的な保全管理に努める他、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制を構築する。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。集落内にわなの免許所持者がいるため、今後もそれにより駆除の取組を進める。

②有機農業の取組の拡大や、高付加価値作物の導入・定着を進め地域農業の活性化に取り組む。

③認定農業者で、生育診断機器や経営ソフト等スマート農業化の取組を進める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

| 属性 | 農業を担う者 (氏名・名称) | 現状 | | | 10年後 (目標年度:令和 年度) | | | | |
|-----|-------------------|-------|--------|--------|----------------------|--------|--------|----------|----|
| | | 経営作目等 | 経営面積 | 作業受託面積 | 経営作目等 | 経営面積 | 作業受託面積 | 目標地図上の表示 | 備考 |
| 認農 | | 花卉、野菜 | 2.2 ha | ha | 花卉、野菜 | 2.2 ha | ha | 担い手1 | |
| 認農 | | 野菜 | 1.2 ha | ha | 野菜 | 1.2 ha | ha | 担い手2 | |
| 認農 | | 水稻、野菜 | 0.2 ha | ha | 水稻、野菜 | 0.2 ha | ha | 担い手3 | |
| 利用者 | | 水稻 | 1.2 ha | ha | 水稻 | 1.2 ha | ha | 利用者1 | |
| 利用者 | | 野菜他 | 0.1 ha | ha | 野菜他 | 0.1 ha | ha | 自己管理 | |
| 利用者 | | 保全管理 | 0.2 ha | ha | 保全管理 | 0.2 ha | ha | 自己管理 | |
| 利用者 | | 保全管理 | 0.3 ha | ha | 保全管理 | 0.3 ha | ha | 自己管理 | |
| 利用者 | | 保全管理 | 0.1 ha | ha | 保全管理 | 0.1 ha | ha | 自己管理 | |
| 利用者 | | 保全管理 | 0.3 ha | ha | 保全管理 | 0.3 ha | ha | 自己管理 | |
| 利用者 | | 保全管理 | 0.1 ha | ha | 保全管理 | 0.1 ha | ha | 自己管理 | |
| 利用者 | | 野菜他 | 0.3 ha | ha | 野菜他 | 0.3 ha | ha | 自己管理 | |
| 利用者 | | 保全管理 | 0.2 ha | ha | 保全管理 | 0.2 ha | ha | 自己管理 | |
| 利用者 | | 保全管理 | 0.1 ha | ha | 保全管理 | 0.1 ha | ha | 自己管理 | |
| 利用者 | | 保全管理 | 0.5 ha | ha | 保全管理 | 0.5 ha | ha | 自己管理 | |
| 利用者 | | 野菜他 | 0.2 ha | ha | 野菜他 | 0.2 ha | ha | 自己管理 | |
| 計 | 15経営体 | | 7.2 ha | 0 ha | | 7.2 ha | 0 ha | | |

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

6 目標地図(別添のとおり)

- 7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人) うち計画同意者数(人・%)

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。